

第1章

# 仕入れコンテンツ

仕入れに行く前に

身につけておきたい知識

Toshihito Suzuki

## 目次

本せどりで使う用語	2
スキャン効率と時給	3
仕入れにおける知識と経験	6
全頭検索と目利きについて	10
仕入れ場所について	12
値札の見方	13
大きい値札と小さい値札	15

## “本せどりで使う用語”

---

・ **スキャン**：本のバーコードをバーコードリーダーで読み込むこと

・ **単C**：ブックオフ内では単行本Cランクという意味がある

棚に『100+税』もしくは『108~200 円』と書かれている棚

・ **プロパー**：単C以外の棚

・ **回転**：

店舗の棚を指す場合→仕入れた後に在庫がどのくらいで復活するかの期間

販売を指す場合 →在庫から1日にどのくらいの本が売れているか

・ **ストッカー**：ブックオフの棚の下にある在庫の本がしまっている場所

・ **全頭検索**：棚にある商品を全て検索する方法

・ **インスタコード**：店舗独自のバーコード

本の情報と価格情報が入っている場合もあれば

価格情報のみしか入っていない場合もある

※検索ツールによってはインスタコードでは検索をできないものもある

## “スキャン効率と時給”

---

まず最初にわかって欲しいのが、  
本せどりは地道に資産を構築して1年後に大きな金額を稼ぐ  
というものではないということです。

今月稼ぎたい金額を手っ取り早く稼ぐ。

もっと言ってしまうと今日1日でいくら稼ぐか。

よくネットビジネスの話で出てくる『自由』という単語ですが、  
本せどりでは自由になんてなれないです。

いつまで経っても

### 『仕入れ、出品、出荷』

こういう労働は常にやらなければいけないです。

じゃあどうすればいいのか？

全ての作業を効率化して、いかに自分の時給をあげるかということを考えて作業をし  
ていかなければいけないんです。

ただそれを補うメリットとしては

『仕入れに行った次の日に利益が確定する』

その反面長年やっていたとしても手を止めて仕舞えば利益がでないです。

なので稼ぐためにはどうしてもある程度の時間を使わなければいけない  
というのがこの本せどりというものになります。

言って仕舞えば『バイト』のようなものだかと僕は思っています。

バイトで給料が発生する仕組みって

**【時給×時間】** な訳ですよ。

じゃあ大きな金額を稼ぎたいと思えば？

1. 働く時間を増やす
2. 時給を上げる

この2つしかないですよ。

でも普通のバイトでは時給は決まっているもの  
仮に上げてもらえても数十円上がればいい方ですよ。

そのためバイトで大きく稼ごうと思ったら時間を増やすしかないんですよ。

でも本せどりならこの時給をあげることができる。

僕の時給はだいたい6000円ほどになっています。

この時給をあげる最大の要因が【スキヤンのスピード】です。

単純に1時間に2000スキャンする人から見て  
4000スキャンできる人は時給が倍になります。

単純にスキャンスピードだけでもこれだけ差が出てきます。

最初はこの棚は取れるのかなと悩みがちですが、

## 『スキヤンのスピードを上げる』

まずはこれに専念してください。

## ～仕入れにおいての知識と経験～

仕入れというと経験や自分の知識から高く売れる商品を見つけていくという方法を考えがちですが、本せどりでは必要ないです。

この方法は通称目利きと呼ばれる方法で、せどりは目利きをする必要があるとされています。

しかしこと本せどりに関してはそんなものいらんです。

確かに経験や知識から棚や店舗を選んでいくと仕入れの効率を高めることができますが…

最初はその知識があると逆に仕入れの幅を狭めることも…。

例えば・・・

- ・文庫は単価が安いから仕入れがしにくいという知識を持ってしまう  
→文庫の仕入れをしなくなってしまう。
- ・あの店舗は仕入れがしにくい気がすると推測で考えてしまうと  
→たまたま仕入れできなかっただけかもしれないのに  
行かなくなってしまう。

などなど

文庫だってスキャンすれば仕入れることができる。

どの店舗も仕入れることができる時もあればできない時もある。

本せどりにおいて最も重要な考えが

## 『どこからでも仕入れることができる』

まずはとりあえずスキャンを試みる。

これがかなり重要になります。

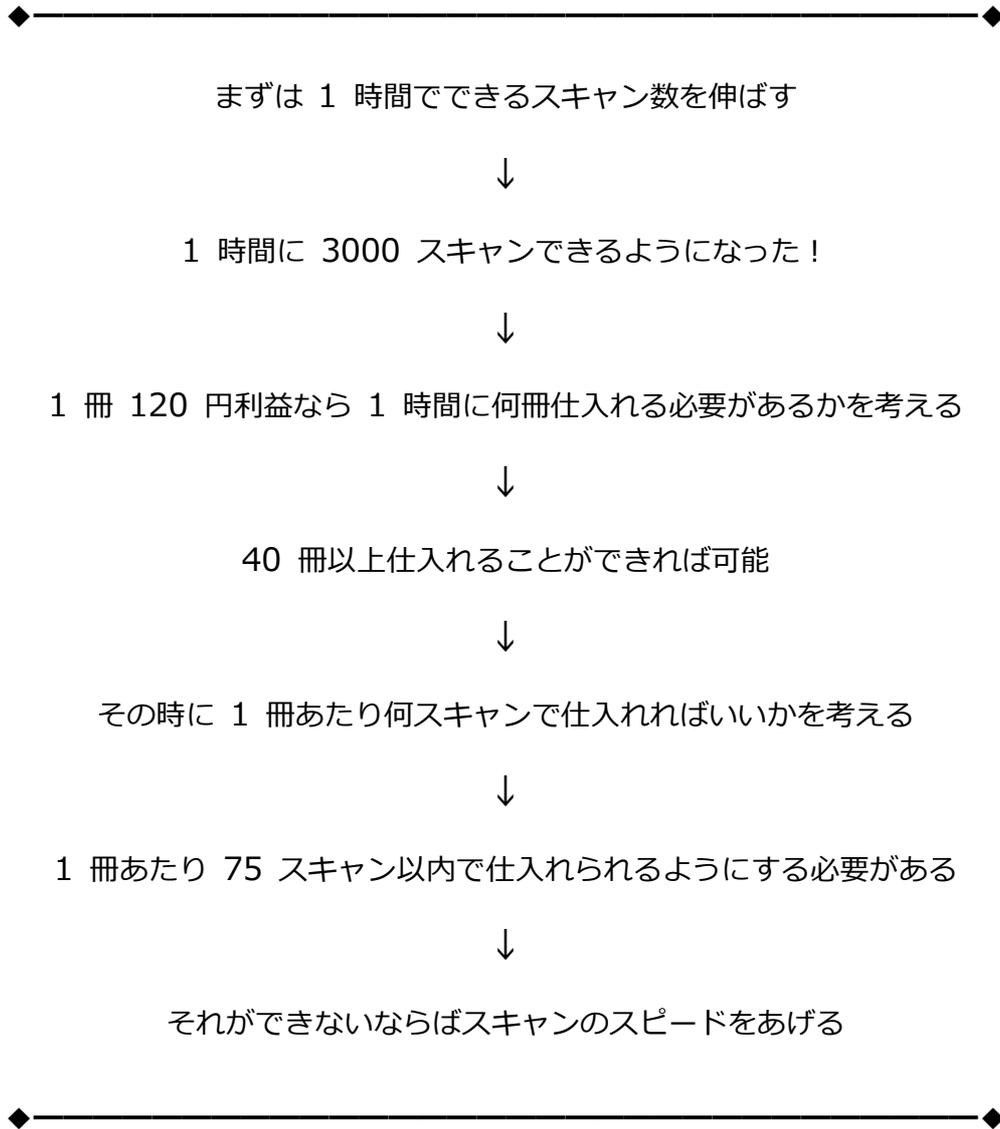
その上で「〇〇だから仕入れをしない」  
というように考えて欲しいと思います。

矛盾しているようですが、  
できないからしないんじゃなくて、  
できるけどしない理由があるからしない

という考えが重要になります。

考え方としては

例) 自分の時給を 5000 円にしたい



あとは検索ツールで1冊あたり120円の利益が出るような設定にして、  
1時間あたり平均3000スキャンをして  
75冊以内に1冊仕入れることができるような動きを目指していく！

そのためにはどの棚をやればいいのかを考える。

もしくはスキャンスピードを上げて設定を直していく。

というようにすると

例えば…

- ・雑誌では1時間のスキャン数が落ちるからやめておく
- ・あの店舗はスキャンがしにくいからやめておく
- ・いつも仕入れができる棚がほとんど取れないから、  
まだ棚が回転していないと判断して別店舗に行く

という感じで自分でやらない理由があるならやらない

それ以外のところはやるというルールでやってみて下さい。

## ～全頭検索と目利きについて～

本せどりでは基本的に全頭検索で仕入れをやっていきます。

数万冊販売していても目利きができるかと聞かれたら僕も自信がないです。

というのも・・・

- ・本の種類が膨大
- ・価値がその時によって変わる

後者の理由がかなり重要です。



これを見てもらうとわかるんですが、

前日に仕入れられた本がその翌日には仕入れられないということもあります。

そのくらい本の値段は変わります。

年間数万冊も販売していれば自然と商品の知識はついてくるのですが、

その商品がその段階で本当に仕入れることができるかは  
確認してみないとわかりません。

確かに鉄板的に仕入れることができる本を数冊覚えておくと棚をざっと見た時に

その本がある→仕入れることができる棚

その本がない→もしかしたら仕入れをされているかもしれない棚

という感じで分けることができますが、

実際は考えているよりスキャンしたほうが早かったりします。

目利きを頑張ろうと棚の前で5分も考えているなら、

その5分で1棚検索したほうが確実です。

## “仕入れ場所について”

本せどりでは仕入れの場所は基本的にブックオフになります。

それ以外にもその土地にある古本店で仕入れることができます。

ブックオフとブックオフ以外の店舗を少し比較になります。

	ブックオフ	ブックオフ以外
値付け	Amazon 価格を意識しているが常に価格を追っているわけではないので一定数仕入れができる	店舗独自の値付けになっているためブックオフではプロパーにあるような商品が100円くらいで売っていたりする
回転	店舗にもよるが1ヶ月もあればほとんどの店舗は再度仕入れができるようになっている	かなり回転が悪く一度仕入れをすると再度仕入れるまでに数ヶ月かかる
店舗数	全国的に見てもかなり多い	少ない
仕入れやすさ	仕入れにくい店舗もあるが、基本的にどの店舗でも仕入れることが可能	回転が悪いため一度仕入れてしまうと再度行くのに時間をおく必要がある 最初の1回は比較的仕入れやすい

どちらでも仕入れ自体はすることが可能だが、

店舗数や回転を考えるとブックオフのみでも仕入れをすることも可能。

## “値札の見方”

ブックオフは値札を見るだけで、いろいろな情報を得ることができます。

知っているか知らないかで違ってくるので、一通り確認しておいてください。

### ● 値札からわかること

- ・ その商品がいつ値付けされたか
- ・ 値下げがされたかどうか
- ・ その棚が仕入れやすいかどうか
- ・ その店舗の値付けの方法

最初は見ても気づくことも少ないかもしれませんが、  
とりあえず店舗に行ったら確認してみるとということが重要です。

仕入れ中は検索をしながら、  
値札を見つつ考えたことが正しかったのかを検証する

こうやって仮説を立てて、それを検証するというのは  
ビジネスを続けていく上で本当に重要なこととなります。

これが即時でできるのは本せどりのすごくいいところだと思うので、めんどくさがらずにやっていってください。

例

仮説：単行本の単C棚にある本でビジネス書だけがプロパーから小さいバーコードで値下げがされている商品が多かった。

→もしかしたらそこだけかなり仕入れられるかもしれない

検証：他の棚に比べて仕入れの冊数が多かった

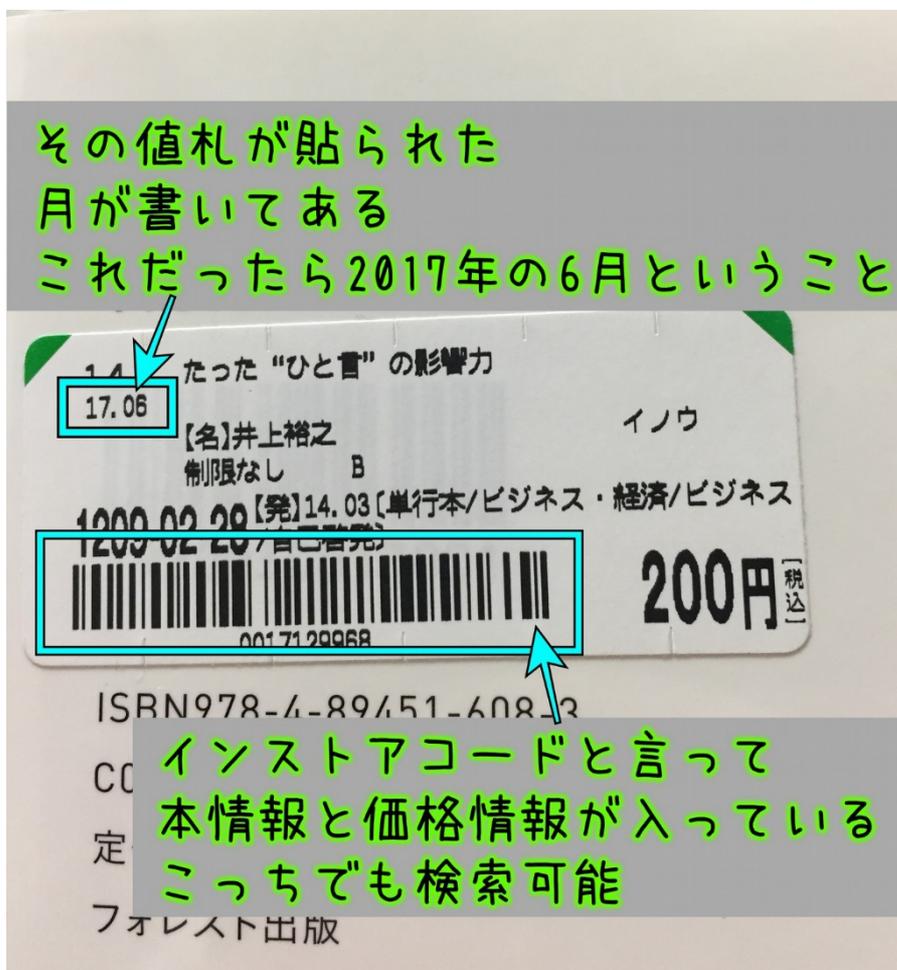
●考察

時間がないときは小さいバーコードで値下げがされている棚だけを検索すれば効率よく仕入れられる

などやっていると気づくことがあると思うので、こんな感じで考えてやってみて下さい。

## ～大きい値札と小さい値札～

ブックオフで使用している値札には 2 つの種類値札があります。



1 つはこの大きい値札です。

左上に書いてあるのがその値札が貼られた月になります。

この値札についているバーコードには商品情報以外にも、  
価格の情報が入っているものがあります。

## 仕入れコンテンツ【第1章】

そのため検索ツールを利用してこのブックオフのバーコードを読ませると自動的に仕入値を入れてくれる機能があります。

→棚の中で価格がバラバラになっているプロパーの棚をやる時に活用

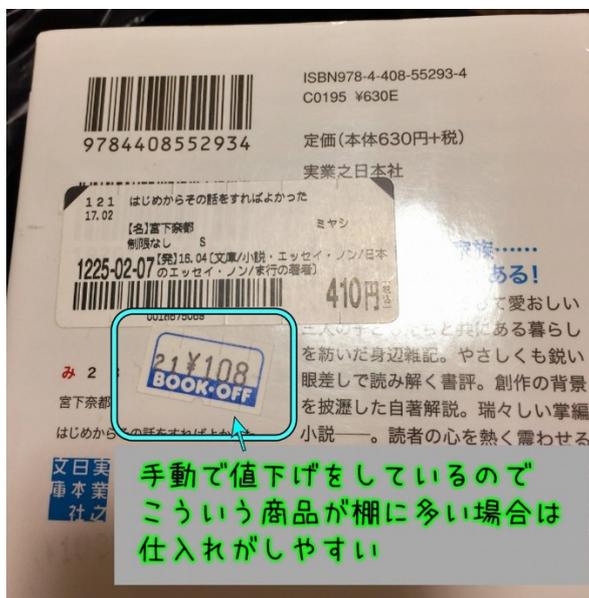
ちなみに大きい値札は Amazon の価格を意識したものになります。

もう1つは小さい値札です。

単C棚にある文庫や新書はこちらの小さい値札を利用していることが多いです。

この小さい値札の値段はある程度 Amazon 価格を意識してはいるのですが、全てを確認しているわけではないので仕入れやすい可能性があります。

また小さい値札が一番使われているのは値下げをしている時です。



このように大きい値札の上に小さいバーコードが上から貼ってある場合はプロパーから単C棚に値下げされてきた商品ということになります。

プロパーの値段→Amazon 価格を意識した価格

ここから値下げをしているため値下げがされている棚は比較的仕入れがしやすい棚になります。

小さいバーコードは色でおおよそいつそれが貼られたものなのかがわかります。

1~3月：黒
4~6月：緑
7~9月：青
10~12月：赤

3ヶ月おきにこのように色が変わっていきます。

※ただ最近では店舗によってこれじゃない時もあるような感じがあるので、参考程度にしておくといいかもしれません。

というより僕自身もまとめてあるだけで、パツと言えないです(笑

一応こんな見方もあるというので覚えておくといいという程度です。